様式第 2 号の 1-② 【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1-①を用いること。

学校名	専門学校浜松医療学院
設置者名	学校法人 森島学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	鍼灸学科	夜・通信	690 時間	240 時間	
	柔道整復学科	夜・通信	690 時間	240 時間	
文化教養専門課程	アスレティックトレーナー学科	Ⓢ夜・通信	300 時間	90 時間	
(備考) アスレティックトレーナー学科については令和 7 年度入学生 (1 年生) より新教育課程に変更しているが、旧教育課程 (令和 7 年度 2 年生) と「実務経験のある教員等による授業科目の授業時数」に相違はない。 ※新・旧教育課程ともに「実務経験のある教員等による授業科目の授業時数」は 300 時間の設定となっている。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校浜松医療学院
設置者名	理事長 森島 康之

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人森島学園 元理事長	2025. 5. 26 ～4年	学校運営の専門的 見識を受ける
非常勤	株式会社スモールポンド 代表取締役	2025. 5. 26 ～4年	医療分野の専門的 見識を受ける
非常勤	一般社団法人善用 代表理事 施設長	2025. 5. 26 ～4年	福祉分野の専門的 見識を受ける
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校浜松医療学院
設置者名	学校法人 森島学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)は資格取得に必要な学力と実技力の習熟を念頭に、各科目担当教員が学科教員と協議を行って作成している。また、開講にあわせてシラバスの公表を行っている。 ・授業計画(シラバス)に「授業目標、概要、助言、学習支援方法、成績評価方法」等を記載し、学内連絡ツール(Desk nets'=グループウェア)を通じて全学生に回覧している。また、学校ホームページにも公表している。 	
授業計画書の公表方法	https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は定期試験、実習成果、履修状況等を総合的に勘案して行うことを「学則」にて明示している。 ・学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記するとともに、「試験規程」にて各種判定(試験、進級、卒業)に関する基準の詳細を示している。また学則および規程に従い、厳格かつ適正に単位授与を実施している。 <p>※全学生に対して年度開始時に学生便覧(学則掲載)を配布している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 客観的な指標の算出方法として、履修科目における評価項目（試験・レポート等）の合計を平均点で算出して点数化（満点=100点）し、成績評価の判定を実施している。 また点数評価をもとに学科、学年別における成績の分布状況の把握に努めている。 上記の基準に則り、点数化した数値（点数評価）をABC評価に変換して成績評価の客観的な指標としている。 A：(80点以上) B：(79点～70点) C：(69点～60点) F：(59点以下) 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>令和7年度 学生便覧（全学生に配布） 成績個票（掲載項目：平均、標準偏差、偏差値グラフ、順位） https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業認定については学則第4章第14条において「本校の教育課程の修了または卒業は、所定の過程の授業科目がすべて合格したものについて進級判定会議及び卒業判定会議で成績評価のうえ学院長が認める。」と明記されている。 学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記するとともに、「試験規程」にて各種判定（試験、進級、卒業）に関する基準の詳細を示している。また学則および規程に従い適切に卒業認定を行っている。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>令和7年度 学生便覧（全学生に配布） https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</p>

式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校浜松医療学院
設置者名	学校法人 森島学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/
財産目録	https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/
事業報告書	https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2660 時間	1880 単位時間	90 単位時間	180 単位時間	— 単位時間	510 単位時間
			2660 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		87人	0人	6人	9人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書（シラバス）に「授業目標、概要、助言、学習支援方法、成績評価方法」等を記載し、年間授業開講予定表とともに初回授業時に配布している。 ・ 授業計画書（シラバス）をホームページ上で公開している。
成績評価の基準・方法 （概要）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価は定期試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行うことを「学則」に明示している。 ・ 学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記するとともに、「試験規程」にて各種判定（試験、進級、卒業）に関する基準も掲載している。
卒業・進級の認定基準 （概要）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業認定については学則第 4 章第 14 条において「本校の教育課程の修了または卒業は、所定の過程の授業科目がすべて合格したものについて進級判定会議及び卒業判定会議で成績評価のうえ学院長が認める。」と明記されている。
学修支援等 （概要）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補習講義、特別対策授業、個別指導の実施。 ・ 担任制による学生へのきめ細やかな個別対応。 ・ 学生、保護者及び担任による三者面談の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	27人 (82%)	6人 (18%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院、鍼灸接骨院、クリニック、高齢者福祉施設			
(就職指導内容) キャリアデザイン講座、就職ガイダンス、就職説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) はり師、きゆう師、ボディトリートメントセラピスト（日本アロマコーディネーター協会認定資格）、日本赤十字救急法救急員（日本赤十字社）、日本化粧品検定1級・2級（一般社団法人日本化粧品検定協会）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91人	3人	3.3%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應、経済的理由による就学継続困難、学業不振、病氣療養 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による学生個別相談ならびに保護者を含めた三者面談の実施		

①-2 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2750 単位時間	1810 単位時間	250 単位時間	180 単位時間	— 単位時間	510 単位時間
			2750 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		173人	0人	7人	14人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書 (シラバス) に「授業目標、概要、助言、学習支援方法、成績評価方法」等を記載し、年間授業開講予定表とともに初回授業時に配布している。 ・ 授業計画書 (シラバス) をホームページ上で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価は定期試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行うことを「学則」に明示している。 ・ 学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記するとともに、「試験規程」にて各種判定 (試験、進級、卒業) に関する基準も掲載している。
卒業・進級の認定基準
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業認定については学則第 4 章第 14 条において「本校の教育課程の修了または卒業は、所定の過程の授業科目がすべて合格したものについて進級判定会議及び卒業判定会議で成績評価のうえ学院長が認める。」と明記されている。
学修支援等
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補習講義、特別対策授業、個別指導の実施。 ・ 担任制による学生へのきめ細やかな個別対応。 ・ 学生、保護者及び担任による三者面談の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
55人 (100%)	1人 (2%)	45人 (82%)	9人 (16%)
(主な就職、業界等) 接骨院・整骨院、鍼灸接骨院・鍼灸整骨院、整形外科医院、スポーツクリニック、 高齢者福祉施設			
(就職指導内容) キャリアデザイン講座、就職ガイダンス、就職説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) 柔道整復師、講道館柔道初段、ボディトリートメントセラピスト（日本アロマ コーディネーター協会認定資格）、日本赤十字救急法救急員（日本赤十字社）、 初級パラスポーツ指導員（公益財団法人 日本パラスポーツ協会）、日本化粧品 検定1級・2級（一般社団法人日本化粧品検定協会）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
176人	6人	3.4%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應、経済的理由による就学継続困難、学業不振、病氣療養 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による学生個別相談ならびに保護者を含めた三者面談の実施		

①-3 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	アスレティック トレーナー学科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1200 単位時間	915 単位時間	90 単位時間	180 単位時間	— 単位時間	15 単位時間
			1200 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		26人	0人	3人	15人	18人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書 (シラバス) に「授業目標、概要、助言、学習支援方法、成績評価方法」等を記載し、年間授業開講予定表とともに初回授業時に配布している。 ・ 授業計画書 (シラバス) をホームページ上で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価は定期試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行うことを「学則」に明示している。 ・ 学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記するとともに、「試験規程」にて各種判定 (試験、進級、卒業) に関する基準も掲載している。
卒業・進級の認定基準
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業認定については学則第 4 章第 14 条において「本校の教育課程の修了または卒業は、所定の過程の授業科目がすべて合格したものについて進級判定会議及び卒業判定会議で成績評価のうえ学院長が認める。」と明記されている。
学修支援等
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補習講義、特別対策授業、個別指導の実施。 ・ 担任制による学生へのきめ細やかな個別対応。 ・ 学生、保護者及び担任による三者面談の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	12人 (71%)	5人 (29%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 接骨院・整骨院、鍼灸接骨院・鍼灸整骨院、リハビリテーション病院、総合病院、 整形外科医院、スポーツクリニック、スポーツチーム等			
(就職指導内容) キャリアデザイン講座、就職ガイダンス、就職説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) 公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、 JATI 認定トレーニング指導者資格			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	1人	3.7%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應、病気療養 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による学生個別相談ならびに保護者を含めた三者面談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
鍼灸 学科	450,000 円	800,000 円	400,000 円	
柔道整復 学科	450,000 円	800,000 円	400,000 円	
アスレティック トレーナー 学科	200,000 円	500,000 円	200,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
学校独自の学生支援制度あり (例: 社会人入学サポート制度、遠隔地入学者助成制度、 家族優待制度、在校生・卒業生サポート制度、他)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>◆ 職業実践専門課程認定校としての社会的役割と貢献に向けた学校作りのために評価を行う。</p> <p>☐ 主な評価項目 教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、法令順守、授業評価アンケート結果</p> <p>☐ 評価委員会の構成 学院外有識者 (職能団体所属・企業等役員・卒業生・PTA 等) を持って構成する</p> <p>☐ 評価結果の活用方法 評価結果改善方策が決定後、速やかに担当部署に通知し教育活動改善、授業改善に活用する。(主に実技、実習内容)</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 静岡県鍼灸師会	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	職能団体所属 有識者
公益社団法人 静岡県鍼灸マッサージ師会	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	卒業生
公益社団法人 静岡県柔道整復師会	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	職能団体所属 有識者
公益社団法人 静岡県柔道整復師会	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	企業等役員
アクトサービス 株式会社	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	地域住民

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://hamamatsu.morishima.ac.jp/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H122310000740
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校浜松医療学院
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人森島学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		32人（ 0）人	27人（ 0）人	32人（ 0）人
内 訳	第Ⅰ区分	18人	13人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	8人	8人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	5人	6人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
区分外（多子世帯）	0人	0人		
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				32人（ 0）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人
前半期	0人
後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。